

産業教育常任委員会所管事務調査報告

◆調査日：7月26日・27日（2日間）

◆調査結果

現地調査については、中央通線交付金工事及び神丘10号線交付金工事の進捗状況、新嘗祭献穀圃場（神丘地区）の見学、水稻試験圃場（八束地区）の生育状況、小規模治山工事（八束地区）の進捗状況、基盤整備後の水稻直播圃場（田代地区）の状況、ピリカスキー場索道施設の状況及び修繕計画、ゲレンデ及び周辺施設活用の方策等、イチゴ栽培ハウスの状況、国営緊急農地再編整備事業（今金北地区：稲穂工区）の進捗状況、総合体育館建設工事の進捗状況、図書室リニューアルの確認及び利用状況、今金浄化センター長寿命化改築工事の概要について、それぞれ目的をもって調査した。

なお、所管事務調査項目に掲げた11項目については、さらに提出された資料により調査した。

◇意見◇

今年の融雪は平年並みで、春先の好天にも恵まれ、生育が良好に推移していたが、6月中旬から7月中旬までの低温、日照不足、降雨による天候不順により、生育に遅れが見られた。

9月中旬は、高気圧の張り出しの中にあって晴れた日も多かったが、9月下旬から10月上旬は、台風や低気圧を含む気圧の谷の影響により、雨が多く、収穫作業は、登熟の遅れや断続的な降雨により遅れて終了した。

今年は作物全般が天候不順の影響等により、減収傾向となり特に小麦やてん菜の減収が著しく、水稻の10月15日現在の作況指数は、檜山管内93の「不良」で非常に残念な結果となりました。

最近、道内・道外にかかわらず、熊の出没が非常に多くなっているため、クアブラザピリカのキャンプ場利用者への熊に対する注意喚起等を検討いただきたい。

総合体育館建設については、概ね計画どおり進捗しているため、来年3月に予定どおり引き渡しができることを望む。

国営緊急農地再編整備事業の推進により経営規模の拡大が見込まれる中、農業者の減少も見受けられることから、後継者の育成や新規就農者が従事しやすい施策等を検討されたい。

今年3月2日に発生した花石地区における簡易水道の漏水事故を踏まえて、住民の断水に対する不安解消のためにも、老朽化した水道管の計画的な修繕等に努めていただきたい。

今金浄化センターの長寿命化については、計画どおり進められているため、引き続き予算確保に努め長寿命化を推進していただきたい。



小規模治山工事（八束地区）



新総合体育館建設工事の進捗状況



イチゴ栽培ハウスの状況